

(様式)

平成 31 年度 演劇部の指導方針等について

平成 31 年 4 月 25 日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	若林 美穂			
副顧問	三浦 治			
副顧問				

2 年間目標

- (1) 学校の教育目標にある「タフな人間の育成」という方針に基づき、部活動を通して、人間性を深めていく。
- (2) 新入生歓迎公演会、文化祭公演、演劇文化連盟大会公演、クリスマス公演を通じ、演じる力を向上させる。

3 指導方針

- (1) 部活動の質を高める。
稽古は週に 2 回とし、視聴覚室の舞台を使い、実践的な舞台稽古を行う。文化祭公演や演劇連盟主催の大会で、いい結果を残せるように集中して稽古に取り組む。
- (2) 基本的な生活習慣や規範意識等の育成
挨拶を元気に明るくすることは、演技の基本なので、しっかりと身につけさせる。
- (3) 生徒相互の人間関係
劇を協力して作り上げる中で、協調性を養う。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
演技指導の際に、体罰、暴力的指導は決してしない。
- (2) 生徒間の暴力禁止
演技稽古の際、生徒同士で暴力行為がないように、日常的に指導する。
- (3) 外部指導員の活用
外部指導員は活用予定なし。

※ 4 (1) から (3) までの 3 項目は、必ず記載する。

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	新入生入部受付
	5	
	6	
	7	
	8	
2 学期	9	文化祭公演会
	10	秋季演劇連盟演劇大会
	11	
	12	クリスマス公演会
3 学期	1	冬季定期公演
	2	
	3	

※ 合宿や県外遠征などの宿泊を伴う活動については、必ず記載する。

6 休養日 水・土・日